

(2) 平成 27 年度 D-project 香川 メディア教育研究会 夏季セミナー

～考える力、表現する力、発表する力の育成を目指して～

① 日時 平成 27 年 8 月 1 日 (土) 10:15～17:00

② 場所 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

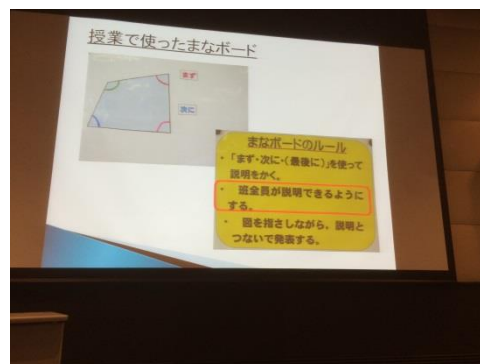
③ 内容

ア 実践発表

香川大学教育学部附属高松小学校の河田先生を始め、3つの実践発表があった。1つ目は「まなボード」を使った算数科での実践であった。協働的に話し合いながら学んでいく授業の発表であった。

2つ目は、タブレット端末を活用した「ポケタッチ」を活用した実践だった。遊び感覚の中で、ベン図やマトリックスなど思考ツールを使えるようにしている内容であった。

3つ目は、サービス・ラーニングとして、主体的で協働的な課題解決を目指して、教室で学んだ知識・技能を活用して、地域社会の諸課題を解決していくものであった。



イ 基調講演

放送大学・中川一史教授から基調講演が行われた。「ICTに振り回されることなく、子どもの学びを見つめて授業をデザインしていく」という D-Project の基本的な考え方をもとに、メディア想像力の育成やタブレット端末、デジタル教科書などの活用について考える内容であった。

ウ ワークショップ

2つのグループに分け、交代でそれぞれ2つのワークショップを受けた。

・ リトルビッツ・スクラッチを活用したプログラミング学習

リトルビッツやスクラッチを使ったプログラミング学習を実際に体験した。おもちゃを組み立てていく感覚で活用できるリトルビッツ、簡単なマウス操作でプログラムを組み込んでいけるスクラッチ、どちらも興味深い内容だった。

・ アクティブ・ラーニング、メディア創造力を伸ばす授業デザイン

「Intel Teach Elements」を活用したプロジェクト型学習のオンライン講座の紹介があった。海外で支持されている内容で、学ぶ気持ちのある人はいつでも学ぶことができることが紹介された。

エ パネルディスカッション

愛媛県からは、八坂小学校石田年保先生が登壇した。リーフレット制作やフォトポエム、はがき新聞等の実践から、メディア想像力を育成する学習サイクルについて考えていった。

オ クロージングトーク

金沢星稜大学・佐藤幸江教授からクロージングトークがあった。四国4県協力していきたい。来年度はぜひ D-Project 四国として研修会を、という内容だった。